

FURUNO

技適・認証機器の無線局免許申請の手引

本手引書は技適・認証機器の無線局免許申請手続について記載しています。
これらの無線機器は無線局の免許を受けずに使用すると罰せられます。機器
使用前に本手引書により必要な手続を取ってください。

(本手引書は、無線局を開設し新たに無線局の免許を申請する場合の手続
について記載しました。既に免許を受けている無線局の一部を変更する場
合は、機器を購入された販売店にご相談願います。)

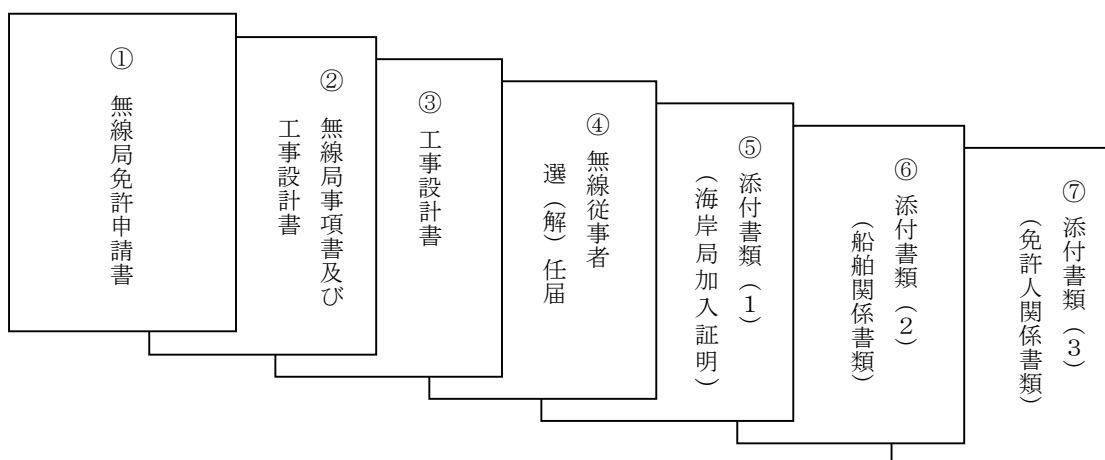


古野電気株式会社

www.furuno.com

この度はフルノ製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
無線機器の無線局免許申請手続きは以下の手順で行って下さい。

1. 提出する申請書類



- ・ 正本、副本各1部を作成して提出します。合計2部提出。
- ・ 申請書の提出先は、船舶の「主たる停泊港」の都道府県を管轄する地方総合通信局（別表1）へ提出します。

（許可された無線局の免許状及び副本の郵送を希望するときは、返送先の住所、郵便番号、氏名を記入した返信用封筒（A4）に切手を貼付して申請書に添付して下さい。）

2. 申請書の記入方法

①無線局免許申請 （各局種共通 記入例 1 を参照）

- (1) 提出年月日を記入する。
- (2) 提出する総合通信局長を記入する。船の停泊港を管轄する総合通信局（別表1）宛とします。
- (3) 申請者の郵便番号、住所を記入します。申請者は船を使用する人となります。
- (4) 申請者の氏名を記入します。法人の場合は、法人名、代表者の役職、氏名を記入します。
- (5) 申請者が法人の場合は、13桁の法人番号を記入します。
- (6) 電波法第5条に規定する欠格事由欄は、次のようにチェックを入れます。

開設しようとする無線局	無線局の種類（法第5条第2項各号）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当しない
相対的欠格事由	処分歴等（同条第3項）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

- (7) 無線局の種別及び局数の欄は、無線局の種類により次のように記入します。
- DR-100、FA-50 などの無線機のみを使用する場合 → 船舶局
 - レーダーのみを使用する場合 → 無線航行移動局
 - DR-100 などの無線機とレーダーを使用する場合 → 船舶局
 - 上記の無線局に、衛星 EPIRB 及びレーダートランスポンダを装備しても、無線局の種類は変更にはなりません。
- (8) 識別信号の欄は、無線機を使用する場合に限り、呼出名称（船名）を「ひらがな」で記入します。
- (9) 備考欄には収入印紙代を記入します。収入印紙代は船舶の種類により次のようになります。
- レジャー船の船舶局 7,100 円
 - 漁船の船舶局及び無線航行移動局 4,600 円
- (10) 電波利用料納入告知書送付先、申請に関する連絡責任者の欄は、法人の場合のみ住所等を記入します。免許人が個人の場合は記入不要です。

②無線局事項書及び工事設計書 (船種により記入例 2～5 を参照)

- 1 免許の番号
免許申請では記入しません。変更申請、再免許申請のみ記入します。
- 2 申請（届出）の区分
 開設 にチェックを入れます。
- 3 無線局の種別コード
船舶局の場合は MSS、無線航行移動局の場合は RO と記入します。
- 4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由
無線局を開設する理由を記入します。
- 5 法人団体個人の別 → 該当する箇所にチェックを入れます。
団体とは任意団体のことです。
- 6 住所
 - ・市区町村コード → 不明な場合は入力不要です。
 - ・郵便番号を記入します。
 - ・住所を記入します。
 - ・電話番号を記入します。
- 7 氏名又は名称及び代表者名 →
法人、団体の場合は、会社名と代表者名及びフリガナを記入します。
個人の場合は、個人の姓名、フリガナを記入します。
- 8 希望する運用許容時間、9 工事落成の予定期日
記入しません。
- 10 運用開始の予定日
 免許の日 にチェックを入れます。
- 11 無線局の目的コード
GEN と記入します。従たる目的にはチェックしません。

12 通信事項コード

次の項目に従い記入します。

- ・漁船の船舶局： MAA と FSE
- ・漁船の無線航行移動局： MAA
- ・レジャー船の船舶局： MAA と SRD
- ・レジャー船の無線航行移動局： MAA

項 目	コード
船舶の航行に関する事項	MAA
漁業通信に関する事項	FSE
スポーツ・レジャーに関する事項	SRD

13 無線設備の設置場所（船舶名）

船名を記入します。

14 通信の相手方

次の区分に従いチェックを入れます。無線航行移動局はチェック不要です。

<input type="checkbox"/> 免許人又は免許人加入団体所属の海岸局	船舶局で海岸局に加入する場合
<input type="checkbox"/> 船舶局	船舶局の場合
<input type="checkbox"/> その他	※

※ 簡易 AIS（FA-50 など）の場合、その他にチェックを入れ、（港湾通信業務を行う海岸局、人工衛星局の受信設備）と記載する。

15 識別信号

無線機を使用する場合に限り、呼出名称（船名）を「ひらがな」で記入します。

MMSI は衛星 EPIRB を装備する場合のみ必要です。

提出先の総合通信局へ確認するか、販売店に相談してください。

16 停泊港コード

次の表の中から、船舶の停泊港の都道府県コードを選択し記入します。

01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県		

17 主たる停泊港又は定置場

船舶の主たる停泊港を記入します。

18 船舶又は航空機の所有者

船舶の所有者が申請者本人又は自社の場合は、免許人 へチェックを入れます。申請者とは別の人（会社）が所有者の場合は、その他 にチェックを入れ、（ ）内に所有者名を記入します。

19 無線局の区別

船名を記入します。

20 電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力

- ・ 装備する無線機の種類やレーダー、船舶の種類、使用する機能により入力方法が異なります。
- ・ 電波の型式は無線機やレーダーの該当する箇所をチェックを入れます。
- ・ 周波数は、150MHz 1W のみ空白箇所又はカッコ内に使用する周波数を記入します。
- ・ 空中線電力は、レジャー用の 27MHz 1W、150MHz 1W、全てのレーダーで入力が必要です。
- ・ **DR-100 及び DM-200 でデータ伝送装置の A2D を使用する場合は、通信の相手方となる仲間の船舶や所属海岸局が A2D を許可されていないと申請できない可能性があります。お手数ですが、提出先の総合通信局へ確認してから申請してください。**

○ DR-100 を使用する場合（漁船の場合）

①電波の型式欄：1 行目のA3E に、チェックを入れます。

データ伝送装置も使用する場合は、A2D にもチェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input checked="" type="checkbox"/> A2D	27MHz 帯 54 波	1W

○ DR-100 を使用する場合（レジャー船の場合）

①電波の型式欄：1 行目のA3E に、チェックを入れます。

データ伝送装置も使用する場合は、A2D にもチェックを入れます。

②周波数欄：27524 27564kHz と記入します。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input checked="" type="checkbox"/> A2D	27524 27564kHz	1W

○ DM-200 を使用する場合（漁船の場合）

①電波の型式欄：2 行目のA3E に、チェックを入れます。

データ伝送装置も使用する場合は、A2D にもチェックを入れます。

②-1 周波数欄：海岸局に加入する場合

周波数の欄のカッコの中に、(ch102, 118, 128-147) のように記入します。

ch102 は、加入する海岸局により ch101-117、119-127 のどれかに変更します。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input checked="" type="checkbox"/> A2D	40MHz 帯 (ch102, 118, 128-147)	5W

②-2 周波数欄：海岸局に加入しない場合

周波数のカッコの中に、(ch118, 128-133) と記入します。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input checked="" type="checkbox"/> A2D	40MHz 帯 (ch118, 128-133)	5W

○ DM-200 を使用する場合（レジャー船の場合）

①電波の型式欄：2行目の□A3Eに、チェックを入れます。

データ伝送装置も使用する場合は、□A2Dにもチェックを入れます。

②周波数欄：カッコの中に、(ch110, 118, 164-166)のように記入します。

ch110は、加入する海岸局によりch101-117、119-127のどれかに変更します。

海岸局に加入しない場合は、ch110の記入は不要です。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input checked="" type="checkbox"/> A2D	40MHz帯 (ch110, 118, 164-166)	5W

○ DK-22 で、無線電話のみを使用する場合（漁船の場合）

①電波の型式欄：7行目(空欄)の□にチェックを入れ、A3Eと記入します。

②周波数欄：158.57, 158.21, 158.89, 159.21MHzのように記入します。周波数は、地方総合通信局により異なります。販売店から許可になる周波数を確認して、その周波数を記入します。

③空中線電力欄：1Wと記入します。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> A3E	158.57, 158.21, 158.89, 159.21MHz	1W

○ 携帯型国際VHF、固定型国際VHFを使用する場合

※該当機器：旧マリンVHF(型式検定機)および国際VHF(技適・認証機)

①電波の型式欄：5行目の□F3Eに、チェックを入れます。

デジタル選択呼出装置(DSC)装備の場合は、4行目の□F2Bにもチェックを入れます。

②周波数欄：150MHz帯(ch6, 12, 13, 14, 16, 69, 72)のように記入します。周波数は下記の一覧を参考にして、販売店から許可になる周波数を確認し、その周波数を記入します。

【周波数（チャンネル）一覧】

必須チャンネル	6、12、13、16	
希望により任意に割当可能なチャンネル	8、10、11、14、69、72、73、77	
海岸局へ加入している場合のみ割当可能なチャンネル	日本セーリング連盟の海岸局に加入している場合	71、74
	その他のレジャー用海岸局に加入している場合	79
デジタル選択呼出装置(DSC)を使用希望する場合に割当可能なチャンネル	選任されている無線従事者が第3級海上特殊無線技士の資格のみの場合、平常時にDSCの操作を行うことができないため割当できません	70(電波の型式F2B)

③空中線電力欄：機器に同梱している試験成績書を確認して記入します。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> F2B	150MHz帯 (ch70)	25W
<input checked="" type="checkbox"/> F3E	150MHz帯 (ch6, 12, 13, 14, 16, 69, 72)	25W

- 簡易型船舶自動識別装置を使用する場合

①電波の型式欄：6行目のF1D にチェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> F1D	161.5-162.025MHz 25kHz 間隔の周波数 22波	2W

※通信の相手方のその他の欄に「港湾通信業務を行う海岸局」「人工衛星局の受信設備」を記入します。

- マグネトロンレーダーを使用する場合

①電波の型式欄：9行目のP0N に、チェックを入れます。

②空中線電力欄：レーダーの出力を記入します。

※空中線電力が不明な場合は販売店にご確認ください。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> P0N	9410MHz	4.9kW

- レーダートランスポンダを使用する場合

①電波の型式欄：10行目のQ0N に、チェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> Q0N	9350MHz	0.4W

- 固体素子レーダーを使用する場合

①電波の型式欄：11行目のP0N Q0N V0N にチェックを入れ、装備するレーダーの電波の型式を確認し、不要な型式は削除または取り消し線等で修正します。

②空中線電力欄：レーダーの出力を記入します。

※電波の型式、空中線電力が不明な場合は、販売店にご確認ください。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> P0N <input type="checkbox"/> Q0N <input type="checkbox"/> V0N	9400MHz	200W

- 捜索救助用位置指示送信装置を使用する場合

①電波の型式欄：12行目のF1D に、チェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> F1D	161.975MHz 162.025MHz	1W

- 衛星 EPIRB (Tron60AIS) を使用する場合

① 電波の型式欄：12行目のF1D、13行目のG1B、A3X にチェックを入れます。

② 周波数欄：G1Bの406.031MHz、A3Xの121.5MHzにチェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> F1D	161.975MHz 162.025MHz	1W
<input checked="" type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input checked="" type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz	5W
<input type="checkbox"/> G1D	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.05MHz	5W W
<input checked="" type="checkbox"/> A3X	<input checked="" type="checkbox"/> 121.5MHz	0.05W

- 衛星 EPIRB(TEB-700 または TEB-720)を使用する場合※

※2024 年 1 月以降、開設申請、換装による変更申請をすることはできません。

- ① 電波の型式欄：13 行目の□G1B、A3X にチェックを入れます。
 ② 周波数欄：G1B の 406.028MHz、A3X の 121.5MHz にチェックを入れます。

電波の型式	周波数	空中線電力
<input checked="" type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input checked="" type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz	5W
<input type="checkbox"/> G1D	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.05MHz	5W W
<input checked="" type="checkbox"/> A3X	<input checked="" type="checkbox"/> 121.5MHz	0.05W

21 航行区域又は従業制限コード並びに航行する海域コード

動力漁船登録票又は船舶検査証書に記載の内容に該当するコードを記入します。

分類	項目	コード
漁船以外	平水区域	HSK
	沿海区域	EKK
	近海区域	KKK
	遠洋区域	EYK
	限定沿海	EKG
	限定近海	KKG
	2 時間限定沿海	E2G
	瀬戸内限定	EKS
漁船	第 1 種	F1S
	第 2 種	F2S
	第 3 種	F3S
	小型第 1 種	FK1
	小型第 2 種	FK2
その他	なし	NNN

レジャー船等で、船舶検査証書に航行海域として A1・A2 や、A1・A2・A3 と記載されている場合は、下の行に A1・A2 のように記入します。

22 船舶番号又は漁船登録番号

漁船は漁船登録番号を、レジャー船等は船舶番号を記入します。

23 用途コード

次の表より該当するコードを記入します。複数の用途コードがある場合は、用途コードを併記します。

船舶の種類	コード		
プレジャーボート・プレジャーヨット (旅客定員が 12 名以下)	LSR		
プレジャーボート・プレジャーヨット (旅客定員が 13 名以上)	LSR	PSG	
漁船・漁業調査船・漁業練習船・漁業指導船	FSB		
遊漁兼用船 (旅客定員が 12 名以下)	FSB	LSR	
遊漁船 (旅客定員が 13 名以上)	FSB	LSR	PSG
砂利採取兼運搬船・運搬船兼作業船	CRG	ZTS	
油送船以外の貨物船	CRG		
その他の船舶	ZTS		

24 総トン数

総トン数を記入します。

25 信号符字

信号符字があるときに記入します。

26 旅客定員コード

漁船以外の場合で、旅客定員が 12 名を超えるときに、表の中の該当するコードを入力します。12 名以下は記載しません。

旅客定員	コード
12名を超え250名以下のもの	A
250名を超えるもの	B

27 長さコード

表の中の該当するコードを記入します。

船舶の長さ	コード
12m 未満の船舶	S
12m 以上の船舶	L

28 加入海岸局（無線航行移動局は記入は不要）

加入する海岸局を、正加入、準加入に分けて記入します。

※1 枚目の無線局事項書及び工事設計書の記入が完了したら、用紙の上部空白箇所に、申請者の捨て印を捺印します。捨て印は、記入ミス等があった場合に、字句の修正等を行うために使用するものです。

③工事設計書 (船種により記入例 2～5 を参照)

29 無線局の区別

船名を記入します。

使用する無線機等の「30 機器の種類」、「31 製造者名」、「32 検定番号等又は名称」、「33 製造番号」を記入します。

①30 機器の種類は、使用する無線機等の該当する箇所にチェックを入れます。

機器の種類	対象となる無線機等
<input type="checkbox"/> 27MHzDSB 送受信機 [27D]	DR-100
<input type="checkbox"/> 27MHzSSB 送受信機 [27S]	FC-28
<input type="checkbox"/> 40MHz 送受信機 [40]	DM-200
<input type="checkbox"/> 150MHz 送受信機 (AM) [150]	DK-22
<input type="checkbox"/> 携帯型 150MHz 送受信機 (FM) [JP]	旧マリンVHF(ハンディタイプ)
<input type="checkbox"/> 固定型 150MHz 送受信機 (FM) [JU]	旧マリンVHF(据置タイプ)
<input type="checkbox"/> VHF データ交換装置 [VDE]	該当機器なし
<input type="checkbox"/> 簡易 AIS [AIS]	FA-50、FA-60
<input type="checkbox"/> 400MHz 送受信機(FM) [400]	船上通信設備
<input type="checkbox"/> 双方向無線電話 [LP]	HT649
<input type="checkbox"/> レーダー [R]	レーダー
<input type="checkbox"/> 衛星非常用位置指示無線標識 [SE]	衛星 EPIRB
<input type="checkbox"/> 捜索救助用レーダートランスポンダ「LTL」	レーダートランスポンダ
<input type="checkbox"/> 捜索救助用位置指示送信装置 [ATL]	該当機器なし
<input type="checkbox"/> その他	上記以外の機器

②31 製造者名は、使用する無線機等の製造者名を記入します。

③32 検定番号等又は名称は、使用する無線機等の、工事設計認証番号と機器の型式を記入します。工事設計認証番号は、機器に貼付されています銘板に記載されていますので、銘板を確認して記載します。

衛星EPIRB、レーダートランスポンダを装備する場合は、検定番号と機器の型式を記入します。

機器の種類	製造者名	検定番号又は名称
衛星非常用位置指示無線標識	三菱電機ティフェンス&スペーステクノロジーズ(株)※	SE05001 (TEB-700)
衛星非常用位置指示無線標識	Jotron AS	国土交通省型式承認番号 第 5730 号 (Tron 60AIS)
小型船用 衛星非常用位置指示無線標識	三菱電機ティフェンス&スペーステクノロジーズ(株)※	SS05001 (TEB-720)
捜索救助用レーダートランスポンダ	三菱電機ティフェンス&スペーステクノロジーズ(株)※	LT12001 (TBR-610)

※2023年6月30日以前製造の機器は「三菱電機特機システム(株)」

④33 製造番号は、使用する無線機等の製造番号を記入します。

34 特殊な設備

特殊な設備は、次の機器を使用する場合に、該当する箇所にチェックを入れます。

特殊な設備	対象となる機器
<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機（超短波帯） [DSR]	該当機器なし
<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機（和文） [NRN]	ナブテックス受信機
<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置 [LRN]	ロラン受信機
<input type="checkbox"/> 衛星無線航法装置 [GPS]	GPS 受信機
<input type="checkbox"/> 無線方位測定機 [ADF]	無線方位測定機
<input type="checkbox"/> その他	上記以外の機器

35 附属装置

次の機器を使用する場合に、該当する箇所にチェックを入れます。

DR-100 及び DM-200 を使用する場合は、必ず変調信号処理装置にチェックを入れます。

また、DR-100 や DM-200 でデータ伝送装置 A2D を使用する場合は、データ伝送装置にチェックを入れます。

特殊な設備	対象となる機器
<input type="checkbox"/> 選択呼出装置 [S]	選択呼出装置
<input type="checkbox"/> 変調信号処理装置 [SM]	DR-100、DM-200
<input type="checkbox"/> データ伝送装置 [DT]	DR-100、DM-200
<input type="checkbox"/> その他	上記以外の機器

36 ATIS 番号

DR-100 及び DM-200 を使用する場合は、必ず ATIS 番号を記入します。ATIS 番号は、機器に同梱している工場試験成績表に記載されています。

37 船舶等識別番号

DR-100 又は DM-200 でデータ伝送装置 A2D を使用する場合は、必ず船舶識別番号を記入します。船舶識別番号は無線機に登録する必要がありますので、販売店に登録を依頼し、登録を受けてから登録された番号を記入します。

船舶等識別番号は 10 桁です。

39 備考

「新スプリアス適用設備：型式名」の記載が必要です。

④無線局従事者選（解）任届（各局種共通 記入例 6 を参照）

装備された次の機器の操作には、無線従事者の資格が必要です。

- ・無線機 DR-100、DM-200、DK-22
- ・空中線電力 5kW 以上のレーダー
- ・空中線電力 200mW 以上固体素子レーダー

- (1) 提出年月日を記入します。
- (2) 提出する総合通信局長名を記入します。（申請書と同じ通信局にします。）
- (3) 郵便番号、住所、氏名（法人名又は個人名）、法人の場合は代表者役職名と氏名、電話番号を記入します。
- (4) 無線局の種別は、船舶局又は無線航行移動局（申請した局種）と記入します。
- (5) 船名を記入します。
- (6) 選任する無線従事者の氏名及びふりがなを記入します。
- (7) 無線従事者の資格の略称を記入します。免許証の番号を記入します。
- (8) 選任年月日は、「免許の日」と記入します。

無線従事者資格の略称

資 格	略 称
第 1/2/3 級 総合無線通信士	1 総 / 2 総 / 3 総
第 1/2/3/4 級 海上無線通信士	1 海 / 2 海 / 3 海 / 4 海
第 1 級 海上特殊無線技士	海特 1
第 2 級 海上特殊無線技士	海特 2
第 3 級 海上特殊無線技士	海特 3
レーダー級 特殊無線技士	海特レ

⑤添付書類（海岸局加入証明）

船舶の主たる停泊港の最寄りの通信可能な海岸局に加入手続をして、証明書の発行を受け、加入証明書を添付します。漁船は漁業用海岸局、レジャー船はレジャー用海岸局に加入します。無線航行移動局は添付が不要です。

※レジャー船で DM-200 を使用する場合、加入海岸局により免許される周波数が相違し、無線機の出荷前に許可になる周波数を設定します。加入海岸局について、販売店と事前に連携を取ってください。

⑥添付書類（船舶関係書類）

漁船は動力漁船登録票(写)を、レジャー船等の場合は船舶国籍証書か船籍票又は船舶検査証書（船舶検査申請書）の写しを添付します。

⑦添付書類（免許人関係書類）

漁船の場合は添付する必要はありません。漁船以外の場合は次のものを添付します。

- ・申請者が法人の場合 → 会社登記簿謄本又は履歴事項全部証明書の写し
- ・個人及び任意団体の場合 → 個人又は任意団体の代表者の住民票

別表 1 「主たる停泊港」の県を管轄する地方総合通信局

地方総合通信局	住 所	管 轄 区 域
北海道総合通信局 無線通信部航空海上課	〒060-8795 札幌市北区北 8 条西 2-1-1 札幌第 1 合同庁舎	北海道
東北総合通信局 無線通信部航空海上課	〒980-8795 仙台市青葉区本町 3-2-23 仙台第 2 合同庁舎	宮城県・福島県・岩手県・青森県・ 山形県・秋田県
関東総合通信局 無線通信部航空海上課	〒102-8795 東京都千代田区九段南 1-2-1 九段第 3 合同庁舎	東京都・神奈川県・埼玉県・群馬県・ 千葉県・茨城県・栃木県・山梨県
信越総合通信局 無線通信部航空海上課	〒380-8795 長野市旭町 1108 長野第 1 合同庁舎	長野県・新潟県
北陸総合通信局 無線通信部航空海上課	〒920-8795 金沢市広坂 2-2-60 金沢広坂合同庁舎	石川県・福井県・富山県
東海総合通信局 無線通信部航空海上課	〒461-8795 名古屋市東区白壁 1-15-1 名古屋合同庁舎第 3 号館	愛知県・三重県・静岡県・岐阜県
近畿総合通信局 無線通信部航空海上課	〒540-8795 大阪市中央区大手前 1-5-44 大阪合同庁舎第 1 号館	大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・ 滋賀県・和歌山県
中国総合通信局 無線通信部航空海上課	〒730-8795 広島市中区東白島町 19-36	広島県・鳥取県・島根県・岡山県・ 山口県
四国総合通信局 無線通信部航空海上課	〒790-8795 松山市味酒町 2 丁目 14-4	愛媛県・徳島県・香川県・高知県
九州総合通信局 無線通信部航空海上課	〒860-8795 熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎	熊本県・長崎県・福岡県・大分県・ 佐賀県・宮崎県・鹿児島県
沖縄総合通信事務所 無線通信課	〒900-8795 那覇市旭町 1-9 カフーナ旭橋 B 街区 5 階	沖縄県

記入例 目次

No	船種	装備機器	用紙の種別	備考
記入例 1 1 枚	共通	共通	免許申請書	各局共通
記入例 2 3 枚	レジャー船	27MHz 送受信機 40MHz 送受信機 簡易型船舶自動識別装置 レーダー	事項書及び工事設計書、 工事設計書	M S S
記入例 3 3 枚	漁船	27MHz 送受信機 40MHz 送受信機 150MHz 送受信機 レーダー	事項書及び工事設計書、 工事設計書	M S S
記入例 4 3 枚	レジャー船	マグネトロンレーダー (MODEL 1945) 衛星非常用位置指示無線標識	事項書及び工事設計書、 工事設計書	R O
記入例 5 3 枚	漁船	マグネトロンレーダー (MODEL 1945)	事項書及び工事設計書、 工事設計書	R O
記入例 6 1 枚	共通	無線機又は 5kW 以上の レーダー	無線従事者選(解)任届	共通

記入例 1

無線局免許申請書

提出日を西暦で記入する。

2023年6月20日

提出先を記入する。

〇〇総合通信局長 殿

申請手数料として、下記備考欄の金額を収入印紙にてこの個所へ貼

- 電波法第6条の規程により、無線局の免許を受けたいので、無線局免許手続規則第4条に規程する書類を添えて下記のとおり申請します。
- 無線局免許手続規則第16条1項の規程により、無線局の再免許を受けたいので、第16条の2の規程により、別紙の書類を添えて下記のとおり申請します。
- 無線局免許手続規則第16条1項の規程により、無線局の再免許を受けたいので、第16条の3の規程により、添付書類の提出を省略して下記のとおり申請します。

記

1 申請者

住所	都道府県－市区町村コード [] 〒662-〇〇〇〇 ① 兵庫県西宮市芦原町〇-〇
氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ ② 古野 太郎
法人番号	③ 1234567890123

押印は任意。

代理人

住所	都道府県 〒 ①船舶の使用者で、無線局を開設しようとする会社 又は 個人の住所を記入する。
氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ ②個人の場合：個人名を記入する。 会社の場合：会社名＋代表者の役職名及び氏名を記入する。 ③会社の場合、13桁の法人番号を記入する。

2 電波法第5条に規定する欠格事由

開設しようとする無線局	無線局の種類（法第5条第2項各号）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当しない
相対的欠格事由	処分歴等（同条第3項）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

3 免許又は再免許に関する事項

① 無線局の種別及び局数	船舶局
② 識別信号	ふるのまる
③ 免許の番号	
④ 免許の年月日	
⑤ 希望する免許の有効期限	
⑥ 備考	4,600円

無線局の種別は、無線機を使用するときは船舶局と記入する。レーダーのみを使用するときは、無線航行移動局と記入する。

船舶局の場合に、ひらがなで船名を記入する。無線航行移動局(RO)のときは記入が不要。

収入印紙代を記入する。
無線局免許申請の収入印紙代

- ・レジャー船の船舶局 7,100円
- ・漁船の船舶局 4,600円
- ・無線航行移動局 4,600円

4 電波利用料

① 電波利用料の前納

電波利用料の前納の申出の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
電波利用料の前納に係る期間	<input type="checkbox"/> 無線局の免許の有効期間まで前納します。 (電波法第13条第2項に規程する無線局を除く。) <input type="checkbox"/> その他(年)

② 電波利用料納入告知書送付先(法人の場合に限る。)

1と同一のため記載を省略します。

住所	都道府県-市区町村コード [] 〒 (-)
部署名	フリガナ

免許人が個人の場合は記入不要。
法人の場合のみ電波利用料請求書の送付先を部署名まで記入する。
(担当者は指定できない)
1申請者と同じ(部署名不要)場合は、チェックのみ。

5 申請の内容に関する連絡先

所属、氏名	フリガナ
電話番号	
電子メールアドレス	

免許人が個人の場合は記入不要。
法人の場合のみ申請に関する担当者の住所、所属、氏名、電話番号等を記入する。

記入例 2 (レジャー船の船舶局)

無線局事項書及び工事設計書		開設にチェックする。
1 免許の番号		
2 申請(届出)の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許	
3 無線局の種別コード	MSS	MSSと記入する。 開設理由を記入する。
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	船舶の航行の安全を確保するとともに、レジャーの効率的な運用を図るため	
5 法人 団体 個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> 個人	
6 住所	都道府県-市町村コード [東京都千代田区神田和泉町〇-〇]	住所を記入する。
	〒 (101-〇〇〇〇) 電話番号 03-〇〇〇〇-××××	郵便番号を記入する。 電話番号を記入する。
7 氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ フルノ タロウ 古野 太郎	氏名とフリガナを記入する。
8 希望する運用許容時間		
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定： _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 日 日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 日 日 日	運用開始の予定期日は、免許の日にチェックする。
10 運用開始の予定期日	<input checked="" type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定： _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 日 日 <input type="checkbox"/> 免許の日から _____ 月 日 日	
11 無線局の目的コード	GEN	目的コードGENを記入する。
	<input type="checkbox"/> 従たる目的	
12 通信事項コード	SRD	通信事項コードを記入する。
	MAA	SRDとMAAの2種類を記入
13 無線設備の設置場所	フリガナ フルノマル	船舶名及びフリガナを記入する。
	船舶又は航空機名 古野丸	
14 通信の相手方	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人又は船舶局 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (海岸局に未加入のときは、免許人又は免許人加入団体所属の簡易AISを装備する場合、「港湾通信業務を行う海岸局、人工衛星局の受信設備」を記入する。)	
15 識別信号	[MMSI]	
	ふるのまる	船名をひらがなで記入する。
16 停泊港コード	13	停泊港コードを記入する。
17 主たる停泊港又は定置場	東京	船舶の停泊する港名を記入する。
18 船舶又は航空機の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人	船舶の所有者が申請者本人又は自社の場合は、免許人にチェックを入れる。それ以外のときは、その他にチェックを入れ、所有者名を括弧内に記入する。
	<input type="checkbox"/> その他	

記入例 2 (レジャー船の船舶局)

19	無線局の区別	古野丸	船名を記入する。
20	電波の型式、希望する周波数の範囲及び空中線電力	電波の型式	周波数
		<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	27524、27564kHz
		<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	40MHz帯 (ch110, 118,)
		<input type="checkbox"/> F3E	
		<input type="checkbox"/> F2B	
		<input type="checkbox"/> F3E	
		<input checked="" type="checkbox"/> F1D	161.5-162.025MHz 25kHz間隔の周波数 22波
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input checked="" type="checkbox"/> P0N	9410MHz
		<input type="checkbox"/> Q0N	9350MHz
		<input type="checkbox"/> P0N <input type="checkbox"/> Q0N <input type="checkbox"/> V0N	9400MHz
		<input type="checkbox"/> F1D	161.975MHz
<input type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406.025MHz		
<input type="checkbox"/> G1D	<input type="checkbox"/> 406.037MHz		
<input type="checkbox"/> A3X	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.05MHz <input type="checkbox"/> 121.5MHz		
		27MHz送受信機を使用するとき、無線電話のみ使用するときにはA3Eのみ、データ伝送装置も使用するときにはA3E、A2Dにチェックを入れる。周波数は27524、27564kHzに修正する。	1W 5W 8W
		40MHz送受信機を使用するとき、無線電話のみ使用するときにはA3Eのみ、データ伝送装置も使用するときにはA3E、A2Dにチェックを入れ、周波数を記入する。	W W
		簡易型船舶自動識別装置を使用するときはF1Dにチェックを入れる。	W W
		マグネトロンレーダーを使用するときは、P0Nにチェックを入れ、空中線電力欄に空中線電力を記入する。	4.9kW 0.4W
		固体素子レーダーを使用するときは、P0N Q0N V0Nにチェックを入れ、当該レーダーの電波の型式に修正する。空中線電力欄に空中線電力を記入する。	W 1W 5W 5W W 0.05W
21	航行区域又は従業制限コード及び航行する海域コード	E 2 G	船舶検査証書に記載の航行区域をコードで記入する。
22	船舶番号又は漁船登録番号	290-123456	船舶番号を記入する。
23	用途コード	L S R	船舶検査証書に記載の船舶の用途をコードで記入する。
24	総トン数	2.5トン	トン数を記入する。
25	信号符字		
26	旅客定員コード		船舶の長さを、コードで記入する。
27	長さコード	S	
28	加入海岸局	正加入	加入している海岸局の名称を、正加入、準加入の区別により記入する。
		準加入	

記入例 2 (レジャー船の船舶局)

製造番号で異なるため、機器銘板に記載されている工事設計書認証番号を記入する。

29 無線局の区別		古野丸 船名を記入する。		
工事設計書	30 機器の種類	31 製造者名	32 検定番号、無線設備の番号又は線設備の番号又は	33 製造番号
	<input checked="" type="checkbox"/> 27MHzDSB送受信機 [27D]	古野電気株式会社	001-P01672 (DR-100)	3566-0000
	<input type="checkbox"/> 27MHzSSB送受信機 [27S]	27MHz送受信を使用するときは、チェックを入れる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 40MHz送受信機 [40]	古野電気株式会社	001-P01300 (DM-200)	3567-0000
	<input type="checkbox"/> 150MHz送受信機 [150]	40MHz送受信を使用するときは、チェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> 携帯型150MHz送受信機 (FM) [JU]	製造者名、検定番号又は名称は、申請の手引きを参照して記入する。		
	<input type="checkbox"/> 固定型150MHz送受信機 (FM) [JU]			
	<input type="checkbox"/> VHFデータ交換装置 [VDE]			
	<input checked="" type="checkbox"/> 簡易AIS [AIS]	古野電気株式会社	001RUAB1001 (FA-50)	0000-0000
	<input type="checkbox"/> 400MHz送受信機 (FM) [400]	簡易型船舶自動識別装置を使用するときは、チェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> 双方向無線 [LP]	製造番号は機器に貼っている銘板を確認して記入する。		
	<input checked="" type="checkbox"/> レーダー [R]			
	<input type="checkbox"/> 衛星非常用位無線標識 [S]	レーダーを使用するときは、チェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> 搜索救助用レーダトランスポンダ [ATL]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
<input type="checkbox"/> その他 ()				
34 特殊な設備	<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機 (超短波帯) [DSR]			
	<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機 (和文) [NRN]			
	<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置 [LRN]			特殊な装置を装備している場合にチェックを入れる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛星無線航法装置 [GPS]			
	<input type="checkbox"/> 無線方位測定機 [ADF]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
35 附属装置	<input type="checkbox"/> 選択呼出装置			DR-100、DM-200を使用する場合は、変調信号処理装置にチェックを入れる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 変調信号処理装置			
	<input checked="" type="checkbox"/> データ伝送装置			DR-100、DM-200でデータ伝送装置を使用する場合に、チェックを入れる。
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			DR-100、DM-200を使用する場合は、変調信号処理装置のATIS番号を記入する。
36 ATIS番号	211031003504			
37 船舶等識別番号	4400123451			
38 その他の工事設計	<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章に規定			
39 備考	新スプリアス適用：DR-100、DM-200、FA-50、MODEL 1945			

2017年12月より旧スプリアス適用機器の申請はできません。新スプリアス適用設備、新スプリアス確認設備であるかは記載が必要です。弊社無線機以外も同時に申請する場合、販売店に確認していただき、記載してください。

記入例 3 (漁船の船舶局)

無線局事項書及び工事設計書		開設にチェックする。
1 免許の番号		
2 申請(届出)の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許	
3 無線局の種別コード	MSS	MSSと記入する。 開設理由を記入する。
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	船舶の航行の安全を確保するとともに、漁業の能率向上を図るため	
5 法人 団体 個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> 個人	
6 住所	都道府県-市町村コード [東京都千代田区神田和泉町〇-〇]	住所を記入する。
	郵便番号を記入する。 〒 (101-〇〇〇〇)	
	電話番号 03-〇〇〇〇-××××	電話番号を記入する。
7 氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ フルノ タロウ 古野 太郎	氏名とフリガナを記入する。
8 希望する運用許容時間		
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定： _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月目の日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 日目の日	運用開始の予定期日は、免許の日にチェックする。
10 運用開始の予定期日	<input checked="" type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定： _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月以内の日 <input type="checkbox"/> 免許の日から _____ 月以内の日	
11 無線局の目的コード	GEN	目的コードGENを記入する。
	<input type="checkbox"/> 従たる目的	
12 通信事項コード	FSE	通信事項コードを記入する。
	MAA	FSEとMAAの2種類を記入
13 無線設備の設置場所	フリガナ フルノマル	船舶名及びフリガナを記入する。
	船舶又は航空機名 古野丸	
14 通信の相手方	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人又は免許人加入団体所属の海岸局 <input checked="" type="checkbox"/> 船舶局 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	海岸局に未加入のときは、免許人又は免許人加入団体所属の海岸局にはチェックを入れないこと。
15 識別信号	[MMSI]	船名をひらがなで記入する。
	ふるのまる	
16 停泊港コード	28	停泊港コードを記入する。
17 主たる停泊港又は定置場	西宮	船舶の停泊する港名を記入する。
18 船舶又は航空機の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人	船舶の所有者が申請者本人又は自社の場合は、免許人にチェックを入れる。それ以外のときは、その他にチェックを入れ、所有者名を括弧内に記入する。
	<input type="checkbox"/> その他 (_____)	

記入例 3 (漁船の船舶局)

19	無線局の区別	古野丸	船名を記入する。	
20	電波の型式、希望する周波数の範囲及び空中線電力	電波の型式		
		<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	27524、27564kHz	
		<input checked="" type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	40MHz帯 (ch102, 118, 128~147)	
		<input type="checkbox"/> F3E	40MHz送受信機を使用するときは、無線電話のみ使用するときはA3Eのみに、データ伝送装置も使用するときはA2Dにもチェックを入れ、周波数を記入する。	
		<input type="checkbox"/> F2B		
		<input type="checkbox"/> F3E	150MHz送受信機を使用するときは、 <input type="checkbox"/> にチェックを入れ、電波の型式欄にF3Eと記入し、周波数を記入して、最後に空中線電力に1Wと記入する。	
		<input type="checkbox"/> F1D		
		<input checked="" type="checkbox"/> A3E	158. 57, 158. 21, 158. 89, 159. 21MHz	
		<input type="checkbox"/>		
		<input checked="" type="checkbox"/> PON	マグネトロンレーダーを使用するときは、PONにチェックを入れ、空中線電力欄に空中線電力を記入する。	
		<input type="checkbox"/> QON		
		<input type="checkbox"/> PON <input type="checkbox"/> QON <input type="checkbox"/> VON	9400MHz	
		<input type="checkbox"/> F1D	161. 975M	固体素子レーダーを使用するときは、PON QON VONにチェックを入れ、当該レーダーの電波の型式に修正する。空中線電力欄に空中線電力を記入する。
		<input type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406.	
<input type="checkbox"/> G1D	<input type="checkbox"/> 406. 037MHz <input type="checkbox"/> 406. 04MHz			
<input type="checkbox"/> A3X	<input type="checkbox"/> 406. 025MHz <input type="checkbox"/> 406. 028MHz <input type="checkbox"/> 406. 031MHz			
	<input type="checkbox"/> 406. 037MHz <input type="checkbox"/> 406. 04MHz			
	<input type="checkbox"/> 406. 05MHz			
	<input type="checkbox"/> 121. 5MHz			
		0. 05W		
21	航行区域又は従業制限コード及び航行する海域コード	E 2 G	船舶検査証書に記載の航行区域をコードで記入する。	
22	船舶番号又は漁船登録番号	HG 3-○○○○○	漁船登録番号を記入する。	
23	用途コード	L S R	船舶検査証書に記載の船舶の用途をコードで記入する。	
24	総トン数	2.5トン	トン数を記入する。	
25	信号符字			
26	旅客定員コード		船舶の長さを、コードで記入する。	
27	長さコード	S		
28	加入海岸局	正加入	加入している海岸局の名称を、正加入準加入の区別により記入する。	
		準加入		

記入例 3 (漁船の船舶局)

29 無線局の区別		古野丸 船名を記入する。		製造番号で異なるため、機器銘板に記載されている工事設計書認証番号を記入する。	
工事設計書	30 機器の種類	31 製造者名	32 検定番号 線設備の番号又は		
	<input checked="" type="checkbox"/> 27MHzDSB送受信機 [27D]	古野電気株式会社	001-P01672 (DR-100)		3566-0000
	<input type="checkbox"/> 27MHzSSB送受信機 [27S]	27MHz送受信を使用するときは、チェックを入れる。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 40MHz送受信機 [40]	40MHz送受信を使用するときは、チェックを入れる。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 150MHz送受信機 [150]	150MHz送受信(1W)を使用するときは、チェックを入れる。			
	<input type="checkbox"/> 携帯型150MHz送受信機 (FM) [150]	製造者名、検定番号又は名称は、申請の手引きを参照して記入する。			
	<input type="checkbox"/> 固定型150MHz送受信機 (FM) [JU]				
	<input type="checkbox"/> VHFデータ交換装置 [VDE]				
	<input type="checkbox"/> 簡易AIS [AIS]				
	<input type="checkbox"/> 400MHz送受信機 (FM) [400]	製造番号は機器に貼っている銘板を確認して記入する。			
	<input type="checkbox"/> 双方向無線電話 [LP]				
	<input checked="" type="checkbox"/> レーダー [R]	古野電気株式会社	001UZAB1049 (MODEL 1945)		3567-0000
	<input type="checkbox"/> 衛星非常用位無線標識 [S]	レーダーを使用するときは、チェックを入れる。			
	<input type="checkbox"/> 搜索救助用レーダートランスポンダ [LTL]				
	<input type="checkbox"/> 搜索救助用位置指示送信装置 [ATL]				
<input type="checkbox"/> その他 ()					
<input type="checkbox"/> その他 ()					
特殊な設備	<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機 (超短波帯) [DSR]				
	<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機 (和文) [NRN]		特殊な装置を装備している場合にチェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置 [LRN]				
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛星無線航法装置 [GPS]				
	<input type="checkbox"/> 無線方位測定機 [ADF]				
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
附属装置	<input type="checkbox"/> 選択呼出装置		DR-100、DM-200を使用する場合は、変調信号処理装置にチェックを入れる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 変調信号処理装置				
	<input checked="" type="checkbox"/> データ伝送装置		DR-100、DM-200でデータ伝送装置を使用する場合に、チェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> その他 ()		DR-100、DM-200を使用する場合は、変調信号処理装置のATIS番号を記入する。		
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
36 ATIS番号	211031003504		DR-100、DM-200でデータ伝送装置を使用する場合は、船舶等識別番号を記入する。 なお、船舶等識別番号の設定は、無線機を購入された販売店に依頼してください。		
37 船舶等識別番号	4400123451				
38 その他の工事設計	<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章				
39 備考	新スプリアス適用：DR-100、DM-200、DK-22、MODEL 1945 2017年12月より旧スプリアス適用機器の申請はできません。 新スプリアス適用設備、新スプリアス確認設備であるかは記載が必要です。 弊社無線機以外も同時に申請する場合、販売店に確認していただき、記載してください。				

記入例 4 (レジャー船のRO局)

無線局事項書及び工事設計書		開設にチェックする。
1 免許の番号		
2 申請(届出)の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許	
3 無線局の種別コード	RO	ROと記入する。
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	船舶の航行の安全を確保するため	開設理由を記入する。
5 法人 団体 個人 の 別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> 個人	
6 住所	都道府県-市町村コード [東京都千代田区神田和泉町〇-〇]	住所を記入する。
	〒 (101-〇〇〇〇) 電話番号 03-〇〇〇〇-××××	郵便番号を記入する。 電話番号を記入する。
7 氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ フルノ タロウ 古野 太郎	氏名とフリガナを記入する。
8 希望する運用許容時間		
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定 : _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 日 の日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 日 目 の日	運用開始の予定期日は、免許の日にチェックする。
10 運用開始の予定期日	<input checked="" type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定 : _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 以内 の日 <input type="checkbox"/> 免許の日から _____ 月 以内 の日	
11 無線局の目的コード	GEN	目的コードGENを記入する。
	<input type="checkbox"/> 従たる目的	
12 通信事項コード	MAA	通信事項コードを記入する。 MAAと記入
13 無線設備の設置場所	フリガナ フルノマル	船舶名及びフリガナを記入する。
	船舶又は航空機名 古野丸	
14 通信の相手方	<input type="checkbox"/> 免許人又は免許人加入団体所属の海岸局 <input type="checkbox"/> 船舶局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
15 識別信号	[MMSI]	
16 停泊港コード	28	停泊港コードを記入する。
17 主たる停泊港又は定置場	西宮	船舶の停泊する港名を記入する。
18 船舶又は航空機の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人 <input type="checkbox"/> その他	船舶の所有者が申請者本人又は自社の場合は、免許人にチェックを入れる。それ以外の場合は、その他にチェックを入れ、所有者名を括弧内に記入する。

記入例 4 (レジャー船のRO局)

19 無線局の区別	古野丸	船名を記入する。		
20 電波の型式、希望する周波数の範囲及び空中線電力	電波の型式	周波数	空中線電力	
	マグネトロンレーダーを使用するときは、P0Nにチェックを入れ、空中線電力欄に空中線電力を記入する。不明な場合は販売店に確認してください。		1W	
			5W	
			0.8W	
	<input type="checkbox"/> F2B	150MHz	(ch 70)	W
	<input type="checkbox"/> F3E	150MHz		W
	<input type="checkbox"/> F1D	161.5-1		2W
	<input type="checkbox"/>			1W
	<input type="checkbox"/>			W
	<input type="checkbox"/> P0N	941		4.9kW
	<input type="checkbox"/> Q0N	9350MHz		0.4W
	<input checked="" type="checkbox"/> P0N Q0N V0N	9400MHz		25W
	<input checked="" type="checkbox"/> F1D	161.975MHz	161.975MHz	1W
<input checked="" type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.05MHz <input checked="" type="checkbox"/> 121.5MHz	<input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz	5W	
<input type="checkbox"/> G1D		<input type="checkbox"/> 406.031MHz	5W	
<input checked="" type="checkbox"/> A3X			W 0.05W	
21 航行区域又は従業制限コード及び航行する海域コード		E 2 G	船舶検査証書に記載の航行区域をコードで記入する。	
22 船舶番号又は漁船登録番号		290-000000	船舶番号を記入する。	
23 用途コード		L S R	船舶検査証書に記載の船舶の用途をコードで記入する。	
24 総トン数		2.5トン	トン数を記入する。	
25 信号符字				
26 旅客定員コード			旅客定員が12名を超える場合に、旅客定員コードを記入する。	
27 長さコード		S	船舶の長さを、コードで記入する。	
28 加入海岸局	正加入			
	準加入			

記入例 4 (レジャー船のRO局)

29 無線局の区別		古野丸 船名を記入する。		
工事設計書	30 機器の種類	31 製造者名	32 検定番号、適合表示無線設備の番号又は名称	33 製造番号
	<input type="checkbox"/> 27MHzDSB送受信機 [27D]			
	<input type="checkbox"/> 27MHzSSB送受信機 [27S]			
	<input type="checkbox"/> 40MHz送受信機 [40]			
	<input type="checkbox"/> 150MHz送受信機 (AM) [150]			
	<input type="checkbox"/> 携帯型150MHz送受信機 (FM) [JP]			
	<input type="checkbox"/> 固定型150MHz送受信機 (FM) [JU]			
	<input type="checkbox"/> VHFデータ交換装置 [VDE]			
	<input type="checkbox"/> 簡易AIS [AIS]			
	<input type="checkbox"/> 400MHz送受信機 (FM) [400]	レーダーを使用するときは、チェックを入れる。	機器に貼っている銘板を確認して記入する。	
	<input type="checkbox"/> 双方向無線電話 [LP]			
	<input checked="" type="checkbox"/> レーダー [R]	古野電気株式会社	005-102536 (DRS6A-NXT-12A-J)	1000-7210-0000
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛星非常用位置指示無線標識 [SE]	Jotron AS	国土交通省型式承認番号第5730号(Tron 60AIS)	00000
	<input type="checkbox"/> 捜索救助用レーダトランスポンダ	衛星EPIRBを使用するときは、チェックを入れる。	TEB-700※またはTEB-720※の場合、製造者名:三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジー(株) (2023/6/30以前製造は三菱電機特機システム(株)) 検定番号:SE05001(TEB-700) SS05001(TEB-720) ※新規申請、換装はできません。	
	<input type="checkbox"/> 捜索救助用位置指示送信装置			
<input type="checkbox"/> その他 ()				
<input type="checkbox"/> その他 ()				
34 特殊な設備	<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機 (超短波帯)			
	<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機 (和文)	[NRN]		
	<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置	[LRN]		
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛星無線航法装置	[GPS]	特殊な装置を装備している場合にチェックを入れる。	
	<input type="checkbox"/> 無線方位測定機	[ALM]		
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
35 附属装置	<input type="checkbox"/> 選択呼出装置	[S]		
	<input type="checkbox"/> 変調信号処理装置	[SM]		
	<input type="checkbox"/> データ伝送装置	[DT]		
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
36 ATIS番号				
37 船舶等識別番号				
38 その他の工事設計	<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章に規程する条件に合致する。			
39 備考	新スプリアス適用: MODEL 1945			

2017年12月より旧スプリアス適用機器の申請はできません。新スプリアス適用設備、新スプリアス確認設備であるかは記載が必要です。弊社無線機以外も同時に申請する場合、販売店に確認していただき、記載してください。

記入例 5 (漁船のRO局)

無線局事項書及び工事設計書		開設にチェックする。
1 免許の番号		
2 申請(届出)の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許	
3 無線局の種別コード	RO	ROと記入する。 開設理由を記入する。
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	船舶の航行の安全を確保するため	
5 法人 団体 個人 の 別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> 個人	
6 住所	都道府県-市町村コード [東京都千代田区神田和泉町〇-〇]	住所を記入する。
	〒 (101-〇〇〇〇) 電話番号 03-〇〇〇〇-××××	郵便番号を記入する。 電話番号を記入する。
7 氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ フルノ タロウ 古野 太郎	氏名とフリガナを記入する。
8 希望する運用許容時間		
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定 : _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 日 日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 日 目 日	運用開始の予定期日は、免許の日にチェックする。
10 運用開始の予定期日	<input checked="" type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定 : _____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から _____ 月 以内の日 <input type="checkbox"/> 免許の日から _____ 月 以内の日	
11 無線局の目的コード	GEN	目的コードGENを記入する。
	<input type="checkbox"/> 従たる目的	
12 通信事項コード	MAA	通信事項コードを記入する。 MAAと記入
13 無線設備の設置場所	フリガナ フルノマル	船舶名及びフリガナを記入する。
	船舶又は航空機名 古野丸	
14 通信の相手方	<input type="checkbox"/> 免許人又は免許人加入団体所属の海岸局 <input type="checkbox"/> 船舶局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
15 識別信号	[MMSI]	
16 停泊港コード	28	停泊港コードを記入する。
17 主たる停泊港又は定置場	西宮	船舶の停泊する港名を記入する。
18 船舶又は航空機の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 免許人	船舶の所有者が申請者本人又は自社の場合は、免許人にチェックを入れる。それ以外の場合は、その他にチェックを入れ、所有者名を括弧内に記入する。
	<input type="checkbox"/> その他	

記入例 5 (漁船のRO局)

19	無線局の区別	古野丸	船名を記入する。
20	電波の型式、希望する周波数の範囲及び空中線電力	電波の型式	周波数
		<input type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	
		<input type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	40MHz帯 ()
		<input type="checkbox"/> F3E	150MHz 帯 (ch 15-17)
		<input type="checkbox"/> F2B	150MHz 帯 (ch 70)
		<input type="checkbox"/> F3E)
		<input type="checkbox"/> F1D	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input checked="" type="checkbox"/> P0N	9410MHz
		<input type="checkbox"/> Q0N	9350MHz
		<input type="checkbox"/> P0N <input type="checkbox"/> Q0N <input type="checkbox"/> V0N	9400MHz
		<input type="checkbox"/> F1D	161.975MHz
		<input type="checkbox"/> G1B	<input type="checkbox"/> 406. <input type="checkbox"/> 406. <input type="checkbox"/> 406. <input type="checkbox"/> 406. <input type="checkbox"/> 406.05MHz <input type="checkbox"/> 121.5MHz
<input type="checkbox"/> G1D			
<input type="checkbox"/> A3X			
			空中線電力
			1W
			5W
			0.8W
			W
			W
			2W
			1W
			W
			4.9kW
			0.4kW
			W
			1W
			5W
			5W
			W
			0.05W
21	航行区域又は従業制限コード及び航行する海域コード	FK 1	船舶検査証書に記載の航行区域をコードで記入する。
22	船舶番号又は漁船登録番号	HG 3-000000	漁船登録番号を記入する。
23	用途コード	F S B	船舶検査証書に記載の船舶の用途をコードで記入する。
24	総トン数	2.5トン	トン数を記入する。
25	信号符字		
26	旅客定員コード		
27	長さコード	S	船舶の長さを、コードで記入する。
28	加入海岸局	正加入	
		準加入	

記入例 5 (漁船のRO局)

29 無線局の区別		古野丸 船名を記入する。		
工事設計書	30 機器の種類	31 製造者名	32 検定番号、適合表示無線設備の番号又は名称	33 製造番号
	<input type="checkbox"/> 27MHzDSB送受信機 [27D]			
	<input type="checkbox"/> 27MHzSSB送受信機 [27S]			
	<input type="checkbox"/> 40MHz送受信機 [40]			
	<input type="checkbox"/> 150MHz送受信機 (AM) [150]			
	<input type="checkbox"/> 携帯型150MHz送受信機 (FM) [JP]			
	<input type="checkbox"/> 固定型150MHz送受信機 (FM) [JU]			
	<input type="checkbox"/> VHFデータ交換装置 [VDE]			
	<input type="checkbox"/> 簡易AIS [AIS]			
	<input type="checkbox"/> 400MHz送受信機 (FM) [400]	レーダーを使用するときは、チェックを入れる。	機器に貼っている銘板を確認して記入する。	
	<input type="checkbox"/> 双方向無線電話 [LP]			
	<input checked="" type="checkbox"/> レーダー [R]	古野電気株式会社	001UZAB1049 (MODEL 1945)	3567-00000
	<input type="checkbox"/> 衛星非常用位置指示無線標識 [SE]			
	<input type="checkbox"/> 搜索救助用レーダートランスポンダ [LTL]			
	<input type="checkbox"/> 搜索救助用位置指示送信装置 [ATL]			
<input type="checkbox"/> その他 ()				
<input type="checkbox"/> その他 ()				
34 特殊な設備	<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機 (超短波帯) [DSR]			
	<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機 (和文) [NRN]	特殊な装置を装備している場合にチェックを入れる。		
	<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置 [LRN]			
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛星無線航法装置 [GPS]			
	<input type="checkbox"/> 無線方位測定機 [ADF]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
<input type="checkbox"/> その他 ()				
35 附属装置	<input type="checkbox"/> 選択呼出装置 [S]			
	<input type="checkbox"/> 変調信号処理装置 [SM]			
	<input type="checkbox"/> データ伝送装置 [DT]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
36 ATIS番号				
37 船舶等識別番号				
38 その他の工事設計	<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章に規程する条件に合致する。			
39 備考	新スプリアス適用：MODEL 1945 2017年12月より旧スプリアス適用機器の申請はできません。新スプリアス適用設備、新スプリアス確認設備であるかは記載が必要です。弊社無線機以外も同時に申請する場合、販売店に確認していただき、記載してください。			

記入例 6

※ 整理番号

~~主任無線従事者~~選(解)任届
無線従事者

西暦で提出日を記入する。

○年○月○日

○○総合通信局長殿

提出先を記入する。

届出者 住所 〒 662-0000

兵庫県西宮市芦原町○番○号

無線局を開設する会社又は個人の住所を記入する。

氏名 古野 太郎

電話番号 0798-××-0000

個人の場合は氏名を記入する。
会社の場合は会社名を記入し、その下に代表者役職名と氏名を記入する。

代理人 住所 〒

電話番号を記入する。

氏名

電話番号

次のとおり~~主任無線従事者~~を選(解)任したので、電波法

~~第39条第4項~~

第51条において準用する同法第39条第4項

~~第70条の8第3項において準用する同法第39条第4項~~

~~第70条の8第3項において準用する同法第51条において準用する同法第39条第4項~~

の規定により届けます。

無線局の種別コードがMSSの場合は船舶局と記入し、ROの場合は無線航行移動局と記入する。

無線局の種別
船名
免許番号
主たる停泊港

船舶局
古野丸

船名を記入する。

西暦で提出日を記入する。

年 月 日 現在

主任	(ふりがな) 氏名	資格	選任年月日	業務経歴	住所
		免許証の番号			
	ふるの たるう 古野 太郎	海特2 EANV00000	免許の日	選任年月日は、免許の日と記入する。	

無線従事者の氏名及びふりがなを記入する。

無線従事者免許証の番号を記入する。

無線従事者の資格を略称で記入する。

無線局免許申請書

年 月 日

殿

- 電波法第6条の規程により、無線局の免許を受けたいので、無線局免許手続規則第4条に規程する書類を添えて下記のとおり申請します。
- 無線局免許手続規則第16条1項の規程により、無線局の再免許を受けたいので、第16条の2の規程により、別紙の書類を添えて下記のとおり申請します。
- 無線局免許手続規則第16条1項の規程により、無線局の再免許を受けたいので、第16条の3の規程により、添付書類の提出を省略して下記のとおり申請します。

記

1 申請者

住 所	都道府県－市区町村コード []
	〒 (-)
氏名又は名称及び 代表者氏名	フリガナ -----
法人番号	

代理人

住 所	都道府県－市区町村コード []
	〒 (-)
氏名又は名称及び 代表者氏名	フリガナ -----

2 電波法第5条に規定する欠格事由

開設しようとする 無線局	無線局の種類（法第5条第2項各号）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当しない
相対的欠格事由	処分歴等（同条第3項）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

3 免許又は再免許に関する事項

① 無線局の種別及び局数	
② 識別信号	
③ 免許の番号	
④ 免許の年月日	
⑤ 希望する免許の有効期限	
⑥ 備考	

4 電波利用料

① 電波利用料の前納

電波利用料の前納の申出の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
電波利用料の前納に係る期間	<input type="checkbox"/> 無線局の免許の有効期間まで前納します。 (電波法第13条第2項に規程する無線局を除く。) <input type="checkbox"/> その他 (年)

② 電波利用料納入告知書送付先 (法人の場合に限る。)

1 と同一のため記載を省略します。

住 所	都道府県—市区町村コード []
	〒 (-)
部署名	フリガナ -----

5 申請の内容に関する連絡先

所属、氏名	フリガナ -----
電話番号	
電子メールアドレス	

無線局事項書及び工事設計書	
1 免許の番号	
2 申請(届出)の区分	<input type="checkbox"/> 開設 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 再免許
3 無線局の種別コード	
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	
5 法人 団体 個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人
6 住所	都道府県-市区町村コード [<input type="text"/>] 〒 (<input type="text"/> - <input type="text"/>)
	電話番号
7 氏名又は名称及び代表者氏名	フリガナ -----
8 希望する運用許容時間	
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定 : ____ . ____ . ____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から ____ 月 日 の日 <input type="checkbox"/> 予備免許の日から ____ 日 目 の日
10 運用開始の予定期日	<input type="checkbox"/> 免許の日 <input type="checkbox"/> 日付指定 : ____ . ____ . ____ <input type="checkbox"/> 予備免許の日から ____ 月 以内 の日 <input type="checkbox"/> 免許の日から ____ 月 以内 の日
11 無線局の目的コード	<input type="checkbox"/> 従たる目的
12 通信事項コード	
13 無線設備の設置場所	フリガナ
	船舶又は航空機名
14 通信の相手方	<input type="checkbox"/> 免許人又は免許人加入団体所属の海岸局 <input type="checkbox"/> 船舶局 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)
15 識別信号	[MMSI] -----
16 停泊港コード	
17 主たる停泊港又は定置場	
18 船舶又は航空機の所有者	<input type="checkbox"/> 免許人
	<input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)

19 無線局の区別			
20 電波の型式、 希望する周波数の範囲及び空中線電力	電波の型式	周波数	空中線電力
	<input type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	27MHz 帯 54波	1W
	<input type="checkbox"/> A3E <input type="checkbox"/> A2D	40MHz 帯 ()	5W
	<input type="checkbox"/> F3E	150MHz 帯 (ch 15-17)	0.8W
	<input type="checkbox"/> F2B	150MHz 帯 (ch 70)	W
	<input type="checkbox"/> F3E	150MHz 帯 ()	W
	<input type="checkbox"/> F1D	161.5-162.025MHz 25kHz間隔の周波数 22波	2W
	<input type="checkbox"/>		W
	<input type="checkbox"/>		W
	<input type="checkbox"/> PON	9410MHz	kW
	<input type="checkbox"/> QON	9350MHz	0.4kW
	<input type="checkbox"/> PON <input type="checkbox"/> QON <input type="checkbox"/> VON	9400MHz	W
	<input type="checkbox"/> F1D	161.975MHz 162.025MHz	1W
	<input type="checkbox"/> G1B <input type="checkbox"/> G1D <input type="checkbox"/> A3X	<input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.025MHz <input type="checkbox"/> 406.028MHz <input type="checkbox"/> 406.031MHz <input type="checkbox"/> 406.037MHz <input type="checkbox"/> 406.04MHz <input type="checkbox"/> 406.05MHz <input type="checkbox"/> 121.5MHz	5W 5W W 0.05W
21 航行区域又は従業制限コード 及び航行する海域コード			
22 船舶番号又は漁船登録番号			
23 用途コード			
24 総トン数			
25 信号符字			
26 旅客定員コード			
27 長さコード			
28 加入海岸局	正加入		
	準加入		

29 無線局の区別				
30 機器の種類		31 製造者名	32 検定番号、適合表示無線設備の番号又は名称	33 製造番号
<input type="checkbox"/>	27MHzDSB送受信機 [27D]			
<input type="checkbox"/>	27MHzSSB送受信機 [27S]			
<input type="checkbox"/>	40MHz送受信機 [40]			
<input type="checkbox"/>	150MHz送受信機 (AM) [150]			
<input type="checkbox"/>	携帯型150MHz送受信機 (FM) [JP]			
<input type="checkbox"/>	固定型150MHz送受信機 (FM) [JU]			
<input type="checkbox"/>	VHFデータ交換装置 [VDE]			
<input type="checkbox"/>	簡易AIS [AIS]			
<input type="checkbox"/>	400MHz送受信機 (FM) [400]			
<input type="checkbox"/>	双方向無線電話 [LP]			
<input type="checkbox"/>	レーダー [R]			
<input type="checkbox"/>	衛星非常用位置指示無線標識 [SE]			
<input type="checkbox"/>	搜索救助用レーダートランスポンダ [LTL]			
<input type="checkbox"/>	搜索救助用位置指示送信装置 [ATL]			
<input type="checkbox"/>	その他 ()			
<input type="checkbox"/>	その他 ()			
34 特殊な設備	<input type="checkbox"/> デジタル選択呼出専用受信機 (超短波帯) [DSR]			
	<input type="checkbox"/> ナブテックス受信機 (和文) [NRN]			
	<input type="checkbox"/> 地上無線航法装置 [LRN]			
	<input type="checkbox"/> 衛星無線航法装置 [GPS]			
	<input type="checkbox"/> 無線方位測定機 [ADF]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
35 附属装置	<input type="checkbox"/> 選択呼出装置 [S]			
	<input type="checkbox"/> 変調信号処理装置 [SM]			
	<input type="checkbox"/> データ伝送装置 [DT]			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
36 ATIS番号				
37 船舶等識別番号				
38 その他の工事設計		<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第3章に規定する条件に合致する。		
39 備考				

工事設計書

Pub.No.J32-00501-P4
(2024/3)

